

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

## 1. 申請団体情報

## 1-1. 申請団体

団体名	京都市	代表者名	門川 大作
担当者部署	総合企画局	連絡先電話番号	075-222-3216
担当者役職	係員	担当者氏名	大塚 雄登
住所	604-8571 京都府京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地		

## 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本市におけるEBPMの推進を狙いとした研修会を実施するにあたり、限られた時間の中で最大限の効果を発揮できるよう多くのアイデアを提案していただき、緻密な事前打ち合わせを実施することができた。またその後も、研修当日までの間に、メール等により複数回にわたり継続してサポートを行っていただき大変助かった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

## 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年12月9日	16時00分	17時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン会議		最寄駅	未定
	所在地	未定		最寄駅からの交通手段	未定
	派遣形態	事前打合せ(オンライン)			

## 4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

## 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	京都市職員	4人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	EBPMの推進や職場でのデータ利活用等について、これまで深く認識する機会がなかった本市の職員に向け、それらの重要性について理解を深めてもらうために、どのような研修プログラムを構築すれば良いか。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	研修に参加した本市職員が、各々の職場でEBPMを意識した業務運営、データ利活用を実践する動機づけとなるような研修の実施。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	研修当日の具体的な進行方法等についてアドバイスをいただいた。 具体的には、以下のとおり。 ・データ利活用を参加者個人が体験(職員個人がPCを持参することが理想) ・本市のデータ利活用事例紹介 ・録画やネット環境に関する諸注意	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	研修会場に職員がPCを持ち込むことは結果的には困難と判断、代わりにスマートフォンのアプリ「Slido」を活用し、研修参加者と講師の意思疎通を図ることなどが計画に盛り込まれた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	会場での接続テスト等については、研修実施日当日に早めに会場入りしてもらい、実施することとなった。	

アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>研修受講者から収集したアンケート結果等については、報告書第2日目のシートに記載</p>	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	本市のより多くの職員に、EBPMの重要性や、データ利活用の可能性について認識を深めてもらう。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子